

15万市民のために



各務原市都市戦略部企画財政総室財政課長

常木 孝浩

Tsuneki Takahiro

平成14年4月 総務省採用
消防庁総務課
平成15年4月 自治財政局地方債課
平成16年4月 栃木県総務部市町村課
平成18年4月 自治行政局自治政策課
平成20年4月 自治財政局財政課企画係長
平成22年4月 消防庁国民保護・防災部防災課
消防団係長
平成24年4月 現職

各務原市役所

総務省は、市町村との人事交流が活発です。私は平成24年4月から岐阜県の各務原市役所で勤務しています。市長が目指すのは、「市民が幸せを実感できるまち」。そのために積極的な事業展開と強い財政との両立が経営方針です。その中で私は、財政課長として、財政の健全性を堅持しつつ、積極的な事業が実現できる予算をつくるという大変重要な職責を与えられています。一般会計の規模は約400億円。本庁舎の立て替え、子育て支援、高齢者対策、公共交通対策など限られた財源をいかに効率よく住民サービスに使うか、事業部署と調整しながら形にしていきます。市長からは常に新しいアイデアを求められます。自分なりに課題設定し解決策を実施します。今年度は、税外収入の確保のため、ふるさと納税の強化に力を入れています。日々ワクワクしつつもチャレンジの毎日です。

ズバリ!やりがいがある!!

私にとってやりがいとは、「国民・市民のお役に立てる満足感」、「活躍の場所が与えられる充実感」、「大きな仕事をやり遂げる達成感」。その3つすべてが総務省にはありました。「世のため、人のために」、公務員を志した時に漠然と考えていたことが一つ一つ形になります。自分の経験やアイデアを実現するポジションが与えられます。国や地方での企画立案は、責任も重大だけに、その分大きな達成感を感じることができます。

幅広い活躍の場

各務原市の前は、消防庁で消防団の担当でした。東日本大震災では、暫くたった後も瓦礫からの小火に悩まされていましたが、被災地の消防団は津波で多くの消防車や消防ポンプを失ったため、大変な状態でした。そこで全国から消防車などを100台以上かき集め、点検・整備し、被災地に持ち込みました。少しでも気持ちよく使ってもらおうと、ピカピカに磨きあげました。消防車は、今でも被災地の消防を支えているはずです。